



今月の表紙は、2月10日(木)に幸田保育園の年長児が登った山の途中での写真です。とほね運動場の北側から山の中に入っつていき、アスファルトの道では体験できない自然がたくさんある山の中で園児たちは元気いっぱい山道を駆け回り、気持ちよさそうでした。

## 今月の表紙

# みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111(内線344)  
FAX63-5139

## こうたの民話

### 「へび池長者」 上六栗

昔、上六栗に、たくさんの田んぼや畑を持っている長者さん夫婦と、花のようにかわいらしい娘さんが住んでいました。すぐ近くに、へび池という池があったので、上六栗の人たちは、「へび池長者」と呼んでいました。

この長者さんは、とても情け深い人でした。「長者さま、今年は長雨が続き、菱池の水があふれて田んぼは水びたしになってしまい、いつもの年の半分しか米がとれません。」とってくる村の人があれば、「大変だね。今年の年貢は半分でもいいよ。残りは来年でいいから。」というふうでした。

ところが、ある年の冬に、はやりかぜが元で、長者さん夫婦はなくなっていました。そして、娘さん一人だけが残されました。村の人たちは、これまでのご恩返しをしようと、娘さんの面倒をみました。ある春の日に、この娘さんのほっぺたに、ぼつんと一つ赤

いぼつができました。そして、ぼつぼつは次から次へと増えていき、ついには、二目と見られない顔になってしまいました。

そのうちに、里の人たちは、あれだけ世話になった恩も忘れ、「あのぼつぼつは、うつるそうなの。家の子どもにうつったら大変だ。」と、だんだんと誰もよりつかなくなっていました。

長者さんの屋敷は、荒れ果ててしまい、病気の娘さんが、ただ一人ぼつんと住んでいるようになってしまいました。「ええい、これまでのことも忘れて、なんと薄情な村の人たちでしょう。私ののろいでこの村には、門と美しい娘は、置かないようにしてやるから。」といううらみの声を残して、娘さんは、へび池に身を投げてしまいました。

俗に「上六栗、縞の羽織に紋(門)がない」というのも、このお話となにか関係があるのでしょうか。  
(「こうたの民話」の要約)

が歯  
きみ

豊坂小5年 横井 進志 くん

## みんなの作品展!

今月の作品は、平成22年度健康の町推進  
入選作品(習字の部)からのセレクトです。

家健  
族康

南部中2年 星野 渚 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、  
はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイ  
トルと作者名(ペンネーム可)をご記入の  
うえ、広報こうた係までお送りください  
(デジカメ写真の場合はメールで!)

形のものであったため、以後、この形が流行して現代に至っています。それでも地方では教科書やノートに風呂敷に包んで通学するのが一般的でしたが昭和30年代以降になると、全国的にランドセル通学が普及していきました。  
ランドセルは毎年買い換える消耗品ではなく、少なくとも数年間、できれば小学校の6年間、ずっと使い続けたいもの。上手に使うことで末長くお付き合いしましょう。

ランドセルの歴史は古く、幕末の日本に西洋式の軍隊制度が導入された際に、布製の背嚢(背負う袋)も同時に輸入され、軍用として活用されました。この背嚢がオランダ語で「ランセル」と呼ばれていたことから、やがて「ランドセル」という言葉が生まれました。当時のランドセルは今のリュックサックに近いものでしたが、明治20年に、当時の内閣総理大臣・伊藤博文が大正天皇の学習院入学をお祝いして贈ったランドセルが箱

6年間使用したランドセルを解体し、手のひらに乗るほどの大きさに加工するミニランドセルの制作者などが提唱した記念日です。3月は卒業式シーズンであり、3+2+1=6になることから、6年間に感謝する意味が込められています。

3月10日は「ランドセルの日」

## 今月の記念日



# 青春トークリレー

△△第216走者△△

いわさき あおい  
**岩崎 葵** さん

岩堀区在住 24歳 歯科助手  
身長 148cm B型

**好きなタイプ** 思いやりのある優しい人

**好きな芸能人** EXILE  
益若つばさ

私のやってみたいと思っている夢は、障害のある子どもたちにかかわった仕事をする事です。

昔から子どもが大好きで、歯医者という仕事を通して障害のある子どもに接する機会があり、明るく前向きにがんばっている姿や、純粋な笑顔を見て、私自身がアトピーで悩んでいた時で、その笑顔にたくさんパワーをもらいました。

そういった子どもたちのために、少しでも力になれたらうれしいなあと思います。

その夢に少しでも近づけるように、前向きにがんばって行きたいと思っています。



## はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。  
希望者は企画政策課まで。



### わんぱくどより

「某月某日  
〜幸田保育園」

#### かくし芸大会

楽しかったね!

三月、いよいよ年長児は卒園です。この三年間、泣いたり笑ったり、さまざまな経験をしてきた子どもたち。ココロも身体も大きく成長しました。そこで、かくし芸大会(プレ卒園式)を行い、三年間の遊びの集大成を、お母さんたちに披露しました。

まずと、けんだま、こま、あやとりなどの伝承遊び、跳び箱、竹馬、鉄棒、そして大好きな絵、折り紙、ラキユーなどの作品をみせてくれたり、ユニークなものでは、シヨートコント、マジックシヨールなど、ほんとに一人一人が、大好きなことを披露してくれました。また、仲間と一緒にやるからこそ楽しいソーラン、ダンス、長縄なども、一杯演じてくれました。自分でやりたいものだからこそ、がんばる、勇気を出す、楽しい、そんな子どもたちの姿が頼もしく、ほんとに素敵でした。お母さんたちからたくさん拍手、たく



▲かくし芸大会

さんの言葉をもらって、大満足の子どもたちでした。そんな子どもたちに、私たちからエールを送りたいと思います。「大好きなこと、夢中になれることがあると、これからもっともっとたくさんのお好きをみつけてください。みんなのこと、ずっと、応援しています。」

## ちよと編集者のひびく

▼いよいよ平成22年度も、残すところ1カ月となりました。本年度の総括と来年度の準備もしくてはなりません。まだまだ寒い日もありますが、春の兆しを感じる今日このごろです。皆さん、風邪など引いていないでしょうか？私はずっと雨の日と日曜日以外の早朝ジョギングとジャグリングは継続中です。おかげで体重は中学校時代の体重に戻りました。ジャグリングは上達が止まっていますが、継続していきます。

仕事がある日の昼食は、お弁当です。ある日の朝、私が弁当箱にご飯をつめていたときに、小学1年生の娘が「チエツ！わたしがご飯をつめようと思っていたのよ！」私「お父さんのお手伝いをしようとしてくれたんだね。ありがとう(泣)。でも、そのチエツ！という舌打ちはやめてくれないかなあ。」とお願したところ、娘「わたしのチエツ！は、下打ちではなくて上打ちなんだけど。」私「あ、そ、そうですか...。(舌と下か)」

そういえば、娘が2月13日に「1日早いけどあげる。」とバレンタインチョコを初めてくれました(感激)。さらに、中に手紙が入っていて、読んでいる途中で思わず涙が...。これだけと止まりません。これで父親は娘の言いなりですわ。息子には厳しく、娘には甘く。いかにいかに、平等に接しないと! (R)